

## 編集後記

若尾経営学部長の巻頭言にもある通り、本号は「木村立夫先生ご退任記念号」として同時に、木村先生が強く希望されておられたにもかかわらず発刊できなかった流通マーケティング学科創設 10 周年記念号の趣旨を受け継ぐものでもある。流通マーケティング学科創設 10 周年記念号を発刊できなかったのは偏に木村先生に学恩のある我々の不徳によるものであったが、実は学科の同僚は皆非常に協力的であり、木村先生が退任された際に学科に在籍していた全教員の論文を本号に収めることができた。学科教員のまとまりの良さは本学科の良さであるとかねがね感じてはいたが、その素晴らしさを改めて痛感した。また、本号の編集を通じて、本学科には研究対象および研究アプローチを異にする多彩なスタッフが揃っていることを改めて認識した。

発刊の趣旨を先に述べさせていただいたため、記述が後段となってしまった非礼をお詫びしなくてはならないが、本号には木村先生が懇意にされてきた学外の 4 名の先生方が執筆された論文も収録している。学外執筆者の先生方のうち、池尾恭一先生は日本商業学会の現会長、そしてかつて本学経営学部在籍されたこともある高橋郁夫先生は日本消費者行動研究学会の現会長でいらっしゃる。激務の中、本号に寄稿して下さった両先生には本当に感謝の言葉も無い。実は学内執筆者で流通マーケティング学科所属の岸志津江教授も日本広告学会の現会長である。流通・マーケティング分野における主要な 3 学会の現会長の論文が 1 大学の紀要に同時に収録されるのは非常に珍しいことであるように思う。これも木村先生のこれまでのご活躍ぶり、そしてご交友の広さを示すものであると感じている。また学外執筆者の影山喜一先生と根岸圭子先生はかつて本学に勤務された経験をお持ちである。影山先生は本学在職中に経営学部長をされたこともおありで、また根岸先生は流通マーケティング学科に所属されていた。両先生に流通マーケティング学科にとって節目となる記念論集に投稿していただくことができたのは大変光栄なことであり、厚く御礼申し上げたい。

木村先生のご健康と益々のご活躍を祈念して結びとさせていただきます。

2011 年 10 月

紀要「木村立夫先生ご退任記念号」編集委員 近藤浩之・小木紀親